

I

■出題のねらい

友人同士で引っ越しに関して話している会話です。引っ越しをする理由や、引っ越し先のこと、引っ越しに必要な準備や苦勞などを話しています。文脈に基づく語句選びでは、語彙力・熟語力が問われます。その他、答えている内容から質問を類推する問題を含め、正確に内容が読み取れているかを問う基本的な出題となっています。情報を整理しながら読み進めましょう。

■採点講評

□ 1 □ の正答率は33.5%でしたが、言い換え表現のヴァリエーションを知っていると正答できるでしょう。論述文は得意だけど、会話文は苦手という受験生も多いので、バランスよく学習しましょう。

II

■出題のねらい

子ども向けのスポーツ・アカデミーの案内です。学校のない夏休みなどに、子どもたちが通える運動施設の紹介です。この施設の目的は何か、年齢別にどのようなサービスが提供されているのか、どんな活動ができるのか、何曜日に利用できるのかなどの詳細情報で構成されています。情報量が多いので、メモを取りながら読んでいくのがいいでしょう。

■採点講評

同意語を選ぶ問題や、関係詞を含んだ選択肢の問題など、内容の詳細を問う問題となっています。□ 7 □ の解答を選ぶ際には関係詞だけに気を取られると正答できません。本文の流れも考慮して選ぶ必要があり、正答率が33.9%と、やや難易度の高い問題でした。

III

■出題のねらい

コーヒーを飲む頻度と眼圧への影響に着目した研究論文です。どのような目的で実験が行われたのか、そしてどのような条件のもと実験が行われ、結果としてどのような結論に至ったのか、順を追って理解する必要があります。年代や人数、グループ数、コーヒーの摂取量、眼圧の値などが数値で表されているため、情報を正確に整理しながら読み進めましょう。

■採点講評

14、15の内容理解を問う問題の正答率が低かったです。日頃から科学的な内容の記事にも目を通し、事実を的確に読む読解力を養っておきましょう。

IV

■出題のねらい

ある日本人男性が外国人女性と結婚する際に直面した体験が述べられています。ジェンダー平等に主眼を置き、登場人物の男女が結婚を決めた際の名字の名乗り方を中心に、アイデンティティの尊重や平等な社会の確立について話が展開していきます。日本の法律の下では、人々がどのような現状にあるのかを理解しながら読み進めていきましょう。

■採点講評

“when it comes to ~”（「～はというと」）という熟語表現を問う17、“despite”（「～にも関わらず」）という前置詞を選ぶ18の正答率が低かったです。despiteは接続詞ではなく前置詞なので後ろには名詞句がきます。

V

■出題のねらい

我々人類を守っている植物や木がテーマのエッセイです。文意をとらえながら、正確に文章を並び替えられ、不要語を選べるかを問う問題となっています。不要な語を選ぶ場合、熟語や構文や主要文法項目が隠れていますので、基本的なものは押さえておきましょう。エッセイの場合、各パラグラフの第一文のトピックセンテンスが、各パラグラフの要約をしています。この構成を知っておくと読みやすくなります。

■採点講評

正答率の低かった は The least that we can do is to grow (「私たちができる最低限のことは～を育てることです」) が正答となり、不要な語は off でした。やや難易度の高い構文が隠れていました。基本的な構文はしっかりと押さえておきましょう。